

医療に関すること

◆納得して治療を受けたい（セカンドオピニオン）

1 セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンとは、診断や治療方法について、担当医以外の医師の意見を聞く診療のことです。別の医師の意見を聞くことで、あなたがより納得のいく治療選択をすることを目指します。県内では、がん診療連携拠点病院をはじめとする多くの病院で、セカンドオピニオンを実施しています。「担当医に失礼ではないか」と思いがちですが、多くの医師は患者さんに納得して治療を決めてほしいと考えています。遠慮せずに相談してみましょう。

セカンドオピニオンを受けた後は、その意見を参考に担当医と治療について話し合っていきます。

2 セカンドオピニオンを受けるときの流れ

担当医の治療方針を聞きます。



セカンドオピニオンを受けたいという希望を担当医に伝えて、紹介状を受け取ります。



※これまでの検査結果のデータ（病理検査等の結果、CT等の画像データ）がCD等に保存され用意されます。紹介状の文書と合わせて受診先に提出します。（※通常、CD等は返却はされないことが多い）

希望先の医療機関のセカンドオピニオン外来を申し込みます。（多くの病院が予約制です。）



あらかじめまとめておいた聞きたい事や自分の希望を伝えます。



セカンドオピニオンを受けたら、担当医に必ず報告して、今後のことを相談します。

3 セカンドオピニオンを受ける際の注意点

- ・セカンドオピニオンを受ける前に、ファーストオピニオン（現在の担当医の意見）をよく聞いておくことが大切です。
- ・セカンドオピニオンは公的医療保険が適用されない自費診療で、病院ごとに費用が異なります。
- ・一般的に予約が必要です。受診しようと思っている病院に予約方法や受診までの期間について問い合わせましょう。
- ・本人以外の方がセカンドオピニオンを受ける場合は、患者本人の承諾が必要となる場合があります。
- ・セカンドオピニオンは現在行われている診断や治療について、意見を提供することを目的としています。医療過誤や裁判係争中の事案に関する相談は対象になりません。
- ・セカンドオピニオンを受けてみよう、と思ったら、お近くのがん相談支援センターに相談してみましょう。

※県内のがん相談支援センター一覧（P.2）

※セカンドオピニオン実施施設一覧



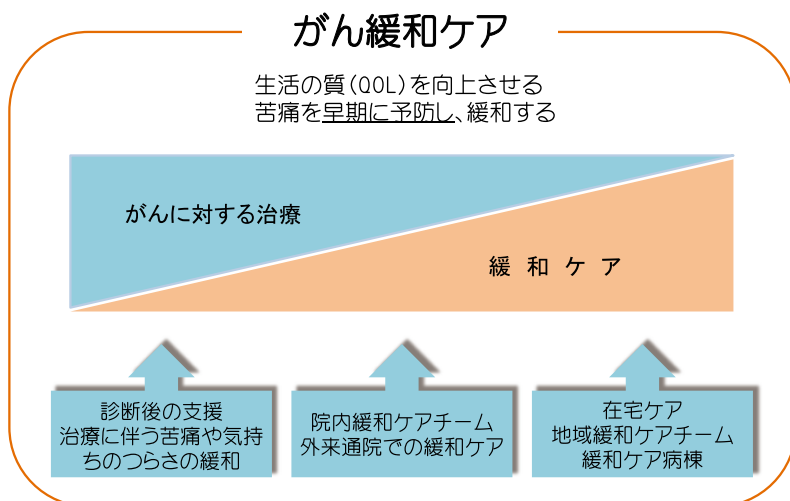
◆ 身体の痛みや心のつらさを和らげたい（緩和ケア）

緩和ケアとは、重い病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なたつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるよう支えていくケアです。

- ・痛みがあるとき
- ・息苦しいとき
- ・とても不安
- ・身体がだるいとき
- ・吐き気があるとき
- ・眠れない
- ・食べられないとき
- ・便秘のとき 等

治療が困難となった場合には、積極的ながん治療が行えない気持ちのつらさに寄り添い、今後の療養場所や過ごし方に対する問題整理を一緒に行いながら、ライフスタイルに合わせた生活が送れるように支援しています。

「緩和ケア」は終末期医療ではなく、がんと診断された時から始まります。



WHO National Cancer Control Programmes (2002)

県内には、「緩和ケア外来」と「緩和ケア病棟」を有する病院があり、専門的な知識と技術に基づいた緩和ケアを受けることができます。施設によりその運営の仕方が異なりますので、必ず問い合わせをしてください。

また、いくつかの病院では、あらゆる時期のがん患者さんやご家族の方たちの心のケアを専門とする「精神腫瘍科」が設置されています。医師や臨床心理士が、がん患者さんやご家族に最適な心のケアを提供し、自分らしくがんと取り組む方法を見いだせるよう支援します。

「眠れない、気分が落ち込む、やる気が出ない、不安で仕方ない、集中できない、物事が決められない、家族のことが心配、病気の受けとめ方を考えたい」などが続く時にご相談ください。

精神腫瘍科がお近くにない場合は、地域の心療内科や精神科でも相談できます。

● 緩和ケア外来を有する病院（予約制です）

緩和ケア外来とは、通院中の患者さんに対して、体の痛みや不安などの苦痛を軽減するための治療とケアを行う外来です。

二次保健医療圏	病 院 名	問い合わせ先	備 考
千葉	千葉県がんセンター 緩和医療科	043-264-6801(直通) がん相談支援センター (患者総合支援センター内)	月～金曜
	千葉大学医学部附属病院 緩和ケア相談外来	043-222-7171(代表)	月～金曜(午後)
	千葉医療センター 緩和ケア外来	043-251-5320(直通) 地域医療連携室	火曜(午前) 水曜(午前)
	山王病院 緩和ケア外来	043-421-2221(代表)	月・火・水・金曜(午前) 詳細はお問い合わせください。
	千葉市立海浜病院 緩和ケア外来	043-227-7711(代表) 地域連携室	火・木曜(午後)
東葛南部	船橋市立医療センター 緩和ケア内科外来	047-438-3321(代表) がん相談支援センター	水曜(午後) 要予約
	東京歯科大学市川総合病院 緩和ケア科	047-322-0151(代表)	金曜(午前) 要予約
	順天堂大学医学部附属 浦安病院 緩和ケア外来	047-382-1341(直通) がん相談支援センター	月・水・第1,4,5土曜(午前) 木曜(午後)
	千葉徳洲会病院 緩和ケア外来	047-466-7111(代表) がん緩和ケア相談支援室	火・木曜(午前) 水曜
	谷津保健病院 緩和ケア外来	047-451-6000(代表)	金曜(午後) 不定期
東葛北部	鎌ヶ谷総合病院 緩和ケア外来	047-498-8111(代表)	詳細はお問い合わせください。
	松戸市立総合医療センター 緩和ケア科	047-712-2511(代表) 緩和ケア外来	木曜(午後)
	東京慈恵会医科大学附属 柏病院 緩和ケア専門外来	04-7167-9739(直通) がん相談支援センター	第1,3水曜(午前) 第1,3金曜(午後)
	国立がん研究センター 東病院 緩和医療科	04-7134-6932(直通) サポートケアセンター/ がん相談支援センター	月～金曜
	平和台病院 緩和ケア外来	04-7189-1111(代表) 地域連携室(MSW)	月・火曜(午前) 要予約
	柏たなか病院 緩和ケア内科	04-7131-2000(代表)	月～金曜(午前) 要予約
	辻仲病院柏の葉 緩和ケア内科	04-7137-3003(直通) 地域連携室	火・木・金曜(午後) 土曜(午前)
印旛	成田赤十字病院 緩和診療科	0476-22-2311(代表)	月～金曜(午後) 完全予約制
	聖隷佐倉市民病院 緩和医療科	043-486-1151(代表) 043-486-8111(入院相談)	月・水曜(午後) 金曜(午後・再診のみ)
	日本医科大学千葉北総病院 緩和ケア科	0476-99-1111(代表)	金曜(午後) 完全予約制

二次保健 医療圏	病 院 名	問い合わせ先	備 考
印 旛	東邦大学医療センター 佐倉病院 緩和ケア外来	043-462-8811 (代表) がん相談支援センター	月・木・金曜 (午後)
	白井聖仁会病院 緩和ケア内科	047-491-3111 (代表)	月・金曜 (午後) 土曜 (午前) 完全予約制
香取 海 匝	旭中央病院 緩和ケア科外来	0479-63-8111 (代表)	火・木曜(午前)要予約
	千葉県立佐原病院 緩和ケア外来	0478-54-1231 地域医療連携室	火曜 (午前)
山武長生 夷 隅	さんむ医療センター 緩和ケア外来	0475-82-2521 (代表)	水・金曜 完全予約制
	公立長生病院	0475-34-2121 (代表)	火・金曜(午後)要予約
安 房	亀田総合病院 がんサポート外来	04-7099-1111 予約センター	月～金曜 (午前)
	亀田クリニック 疼痛・緩和ケア外来	同上	月～金曜 (午後)
君 津	君津中央病院 緩和ケア相談外来	0438-36-1071 (代表)	月・火・水・金曜 (午後) 要予約
市 原	千葉労災病院 緩和ケア内科	0436-74-1111 (代表)	水曜 (要予約)

(令和4年12月現在)

●● 緩和ケア病棟を有する病院

緩和ケア病棟とは、がん患者さんを主な対象とし、体と心の苦痛緩和のための治療とケアを行う病棟です。

二次保健 医療圏	病 院 名	問い合わせ先	備 考
千 葉	千葉県がんセンター	043-264-5431	〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2
	千葉医療センター	043-251-5311	〒260-8606 千葉市中央区椿森 4-1-2
	山王病院	043-421-2221	〒263-0002 千葉市稲毛区山王町 166-2
東葛南部	船橋市立医療センター	047-438-3321	〒273-8588 船橋市金杉 1-21-1
	千葉徳洲会病院	047-466-7111	〒274-8503 船橋市高根台 2-11-1
	鎌ヶ谷総合病院	047-498-8111	〒273-0121 鎌ヶ谷市初富 929-6
	タムス浦安病院	047-702-9181	〒279-0023 浦安市高洲 7-2-32
東葛北部	国立がん研究センター 東病院	04-7133-1111	〒277-8577 柏市柏の葉 6-5-1

二次保健医療圏	病院名	問い合わせ先	備考
東葛北部	松戸市立福祉医療センター 東松戸病院	047-391-5500	〒270-2222 松戸市高塚新田 123-13
	我孫子聖仁会病院	04-7181-1100	〒270-1177 我孫子市柴崎 1300
	平和台病院	04-7189-1111	〒270-1101 我孫子市布佐 834-28
	柏たなか病院	04-7131-2000	〒277-0803 柏市小青田 1-3-2
	辻仲病院柏の葉	04-7137-3737	〒277-0871 柏市若柴 178-2 柏の葉キャンパス 148街区 6
	東葛病院	04-7159-1011 (代表) 患者サポートセンター	〒270-0153 流山市中 102-1
印旛	聖隷佐倉市民病院	043-486-1151	〒285-8765 佐倉市江原台 2-36-2
	白井聖仁会病院	047-491-3111	〒270-1426 白井市笹塚 3-25-2
香取海匠	旭中央病院	0479-63-8111	〒289-2511 旭市イ 1326
山武長生 夷隅	さんむ医療センター	0475-82-2521	〒289-1326 山武市成東 167
君津	君津中央病院	0438-36-1071 (代表)	〒292-8535 木更津市桜井 1010
市原	千葉労災病院	0436-74-1111	〒290-0003 市原市辰巳台東 2-16

(令和4年12月現在)

*掲載している病院は、国が定めた施設基準を満たし、健康保険が適用される「緩和ケア病棟入院料」を算定している病院です。

*上記以外の病院でも、緩和ケアを提供している医療機関や、ほかの医療機関と連携しながら提供している病院があるので、医師や看護師、がん相談支援センターに相談してください。

精神腫瘍科を有する病院

二次保健医療圏	病院名	窓口電話	備考
千葉	千葉県がんセンター	043-263-4071 (直通) 地域医療連携室	月～金曜 (午前) (予約制)
東葛北部	国立がん研究センター 東病院	04-7134-6991 (直通) 初診予約受付	月～金曜 (原則予約制)

(令和4年12月現在)

「緩和ケア」については、『がんになったら手にとるガイド』のP.161 もご参照ください。

◆がんゲノム医療について

1 ゲノムとは

遺伝子*と染色体**の合成語（genome）で、DNA（デオキシリボ核酸：からだを作る設計図）のすべての遺伝情報のことです。

*遺伝子：DNA とほぼ同じ意味。

**染色体：DNA 二重らせんが糸状になり、折りたたまれ凝縮したもの。細胞の核内にある。

2 がんゲノム医療とは

がんゲノム医療とは、主にがんの組織を用いて多数の遺伝子を同時に調べ、その結果をもとに診断、治療を行うなど、がんの遺伝子情報にもとづく個別化医療のひとつです。

3 がん遺伝子パネル検査とは

ひとりひとりのがんの原因遺伝子がわかれば、より効果的な薬を選ぶことができます。ゲノム医療で用いる遺伝子パネル検査は、一度に多数の遺伝子を調べることができます。

4 検査が受けられる県内病院

国立がん研究センター東病院、千葉県がんセンター、千葉大学医学部附属病院、亀田総合病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、君津中央病院

5 検査の対象になる方

希少がんや原発不明がん、標準的な治療が効かなくなった再発・進行した固形がん（非血液がん）の患者さんで、全身状態が良好な方が対象です。

6 検査に必要なもの、費用

がんの組織検体（手術、生検）が必要です。比較のために血液検査をすることがあります。費用は検査時に8万円、結果説明時（約1ヶ月後）に48万円、計56万円（三割負担の場合、自己負担額は約17万円）です。

7 結果に基づく治療

検査結果に対応するくすりは10-15%の方に見ついています。見つかったくすりは、適応外薬*や未承認薬**の可能性があり、治験***や患者申出療養制度****を利用した治療が考えられます。

なお、治験等の情報は日々更新されるため、検査結果を踏まえて、主治医から詳細な説明を受けながら進めていくことになります。

*適応外薬：承認薬であるが、添付文書の効能・効果以外で使用する薬。

**未承認薬：日本での製造販売が未だ許可されていない薬。

***治験：日本での製造販売承認をとるための臨床試験。

****患者申出療養制度：保険外併用療養費制度のひとつ。未承認薬等、保険適用のない部分は自己負担になるが、その他は保険適用される。

◆希少がんについて

年間発生率が人口10万人当り6人未満のがんを「希少がん」といいます。症例数が少なく治療法が確立していないため、治療経験の多い施設に集約して治療することが望ましいといわれています。希少がんには、肉腫（サルコーマ）、悪性脳腫瘍、悪性黒色腫（メラノーマ）、網膜芽細胞腫、口腔がん、などがあります。希少がんの種類は非常に多く、その治療法は様々です。

希少がんの患者さんは、どの施設に受診したら良いのか、など分からないことが多いと思います。そんな時には、まず各施設の「がん相談支援センター」（P2 がん相談支援センター一覧参照）にご相談ください。個々の患者さんに合わせて適切な情報を提供します。

1 希少がんの相談窓口

国立がん研究センター中央病院 希少がんセンター
希少がんホットライン 03-3543-5601（直通）

2 希少がんの患者会のネットワーク

○一般社団法人 日本希少がん患者会ネットワーク



◆外見の変化に対するケア（アピアランスケア）について

1 アピアランスとは

アピアランスとは「外見」を示す言葉です。がん治療により、様々な外見の変化が起こることがあります。代表的なものとして、薬物療法や放射線治療による脱毛（頭髪・まつ毛・眉毛など）・皮膚や爪の変化、乳がんて乳房全摘術を受ける、といったことがあります。

2 アピアランスケアについて

外見の変化が起きたときに行うケアをアピアランスケア（外見の変化に対するケア）と言います。これは単なる美容目的ではなく、治療によって起こった外見の変化を補い、患者さんの苦痛を軽減するためのケアです。

治療前と同じ姿に戻るのではなく、外見の変化が起こったことで人間関係や自分らしく過ごすことへ影響がある、と感じたときに取り入れるものです。

3 アピアランスケアの相談先

- ・県内のがん診療連携拠点病院にあるがん相談支援センターで相談を受けられます。
- ・脱毛に伴うウィッグの選定や皮膚のケア方法などのご相談に対応しています。

※県内のがん相談支援センター一覧（P.2）



感謝の気持ちを忘れずに、希望と勇気を持って一步一步前進しましょう

70代 男性 下部咽頭がん・頸部食道がん

下部咽頭がん及び頸部食道がんの告知を受けたのは平成16年7月下旬、手術は同年10月19日でした。

当時59歳、定年退職約10ヶ月前で第二の人生設計の変更を余儀なくされ強い精神的なショックを受けました。

入院し手術を決断するまでの葛藤は今までに経験したことがなく、手術後は声を失いといとん落ち込みましたが担当医の先生及び看護師さん達や今までにお世話になった家族等多くの人々に対する「感謝」の気持ちから再起を決意しました。

手術後全身麻酔から目覚めてからは身体全体が重く言葉に表せない鈍痛に襲われ、高血圧や頭痛、不眠にも悩まされました。そんなある日の深夜、眠れずにベット脇の椅子に座っていた私を見つけたある看護師さんがシャワー室で足湯に入れてくれました。手術後初めて味わった心地よさは今でも忘れません。

私は食道の一部を切除しそこに小腸の一部（遊離空腸）を移植しておりこの縫合部分がちゃんとくっついているかの検査が手術の1週間後にありました。

検査の結果はOKで、点滴がはずされ経口食がとれるようになり「希望と勇気」が湧いて来ました。

病院のカウンセリング室で読んだ京葉喉友会の会報「京葉喉友」のあるページに訓練により食道発声法や電気式人工喉頭により第二の声を得ることが出来れば「会話はできる。」と書いてあり、声帯を失っても訓練次第で「話せる」ようになる事を知り、「前進」することが出来ました。

これからも「感謝・希望・勇気・前進」を忘れずに日々精進したいと思います。